

「徴収猶予申請書」(記載例)

御相談の際は、まず電話により各担当へ御連絡ください。
御相談いただいた際に申請手続について御説明いたします。

住所(所在地)、氏名(名称)、電話番号を記載してください。

法人の場合、法人番号を記載してください。
※個人番号の記載は不要です。

納税者コードを記載してください。

徴収猶予を申請する徴収金の税目、年度、納期限、税額等を記載してください。

納付計画を記載してください。

申請書に添付する書類にチェックを記載してください。

分割納付の納付方法を記載してください。
※納付書を郵送希望の場合は、「納付書(送付)」に○をつけてください。

申請者	住(居)所所在地 〇〇市△△町×番地	徴収猶予申請書 申請年月日 令和2年5月11日 下記のとおり、地方税法第15条第1項の規定に基づく徴収の猶予を申請します。 徴収猶予の許可を受けた場合には、下記計画に従い、その金額を納付します。					
	フリガナ 氏名・名称 △△ ××						
	電話 (〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇)	(宛先) 京都市長					
	法人番号						
	納税者コード	-					
納付すべき徴収金	税目	年度	相当月	期	納期限	税額(円)	延滞金(円) (法律による金額)
	固定資産税・都市計画税	2	2	00	01	R2.4.30	300,000 要
	固定資産税・都市計画税	2	2	00	02	R2.7.31	300,000 要
	固定資産税・都市計画税	2	2	00	03	R2.12.28	300,000 要
	固定資産税・都市計画税	2	2	00	04	R3.3.1	300,000 要
上記のうち猶予を受けようとする金額(円)						1,200,000	
猶予を受けようとする期間		令和2年5月11日から令和3年4月30日まで					
猶予すべき事実及び一時に納付することができない事情の詳細		令和元年7月に交通事故に遭い、同月から令和2年1月まで〇〇病院に入院し、その後も通院している。治療費及び入院費として100万円支払っており、一時に納税することが困難。					
納付計画	回数	納付期限	納付金額(円)	回数	納付期限	納付金額(円)	
	1	R2.5.29	100,000	8	R2.12.28	100,000	猶予すべき事実の詳細と猶予すべき事実があったことにより、納税者が資金の支出をし、又は損失を受け、その支出又は損失があることが一時に納付することができないことの原因になっている事情の詳細を具体的に記載してください。
	2	R2.6.30	100,000	9	R3.1.29	100,000	
	3	R2.7.31	100,000	10	R3.2.26	100,000	
	4	R2.8.31	100,000	11	R3.3.31	100,000	
	5	R2.9.30	100,000	12	R3.4.30	100,000	
	6	R2.10.30	100,000				
7	R2.11.30	100,000					
以上のほか延滞金及び滞納処分費は、本税完納の際に納付します。							
添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 猶予該当事実証明書類 <input checked="" type="checkbox"/> 財産収支状況書 <input checked="" type="checkbox"/> 担保関係書類						
納付方法	来所・納付書(交付・送付)・納付委託(約束手形・為替手形・小切手)						
担保財産の詳細又は提供できない特別の事情	不動産(種別:土地、地目:宅地、地積120㎡、所有者:〇〇〇〇、所在地:〇〇市△△町×-×-×)						

申請書を提出する日を記載してください。

猶予期間の開始日から納付計画の最終日までを記載します。

担保として提供する財産の種類、数量、価額及び所在等を記載してください。
(例)不動産 (種別:土地、地目:宅地、地積120㎡、所有者:〇〇〇〇、所在地:〇〇市△△町×-×-×)
保証人 (保証人の氏名:〇〇〇〇、保証人の住所:〇〇市△△町×-×-×)
担保なし (担保として提供できる種類の財産を保有していないため)